

キヤノン社製インクジェットプリンタ用ドライバインストール手順

本ガイドでは、キヤノン社製インクジェットプリンタドライバをご利用になる際の設定方法について解説します。ご利用のプリンタの機種により必要なパッケージが異なりますのでご注意ください。

本ガイドの記載内容について、各プリンタに関する動作を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

本ガイドで解説する手順の対象となる機種は以下の通りです。

【対象機種】

インクジェットプリンタ (IJ Printer Driver Ver.3.60 for Linux)

- PIXUS iP4930

インクジェットプリンタ (IJ Printer Driver Ver.3.50 for Linux)

- PIXUS iX6530

インクジェットプリンタ (IJ Printer Driver Ver.3.40 for Linux)

- PIXUS iP4830

インクジェットプリンタ (IJ Printer Driver Ver.3.30 for Linux)

- PIXUS iP2700

インクジェットプリンタ (IJ Printer Driver Ver.3.20 for Linux)

- PIXUS iP4700

インクジェットプリンタ (IJ Printer Driver Ver.3.00 for Linux)

- PIXUS iP3600

- PIXUS iP4600

インクジェットプリンタ (IJ Printer Driver Ver.2.90 for Linux)

- PIXUS iP2600

- PIXUS iP100

インクジェットプリンタ (IJ Printer Driver Ver.2.80 for Linux)

- PIXUS iP3500

- PIXUS iP4500

インクジェットプリンタ (IJ Printer Driver Ver.2.70 for Linux)

- PIXUS iP3300

- PIXUS iP4300

- PIXUS iP90

- PIXUS iP90v

インクジェットプリンタ (IJ Print Filter Ver.2.60 for Linux)

- PIXUS iP4200

- PIXUS iP6600D

- PIXUS iP7500

インクジェットオールインワン (IJ Printer Driver Ver.3.60 for Linux)

- PIXUS MG8230

- PIXUS MG6230

- PIXUS MG5330

- PIXUS MG4130

- PIXUS MG3130
- PIXUS MG2130

インクジェットオールインワン (IJ Printer Driver Ver.3.50 for Linux)

- PIXUS MX883
- PIXUS MX420

インクジェットオールインワン (IJ Printer Driver Ver.3.40 for Linux)

- PIXUS MG5130
- PIXUS MG5230
- PIXUS MG6130
- PIXUS MG8130

インクジェットオールインワン (IJ Printer Driver Ver.3.30 for Linux)

- PIXUS MX350
- PIXUS MX870

インクジェットオールインワン (IJ Printer Driver Ver.3.20 for Linux)

- PIXUS MP270
- PIXUS MP490
- PIXUS MP550
- PIXUS MP560
- PIXUS MP640

インクジェットオールインワン (IJ Printer Driver Ver.3.10 for Linux)

- PIXUS MX860

インクジェットオールインワン (IJ Printer Driver Ver.3.00 for Linux)

- PIXUS MP540
- PIXUS MP630

インクジェットオールインワン (IJ Printer Driver Ver.2.80 for Linux)

- PIXUS MP520
- PIXUS MP610

インクジェットオールインワン (IJ Printer Driver Ver.2.70 for Linux)

- PIXUS MP510
- PIXUS MP600


(2011年10月現在)




オールインワンでスキャナ機能をご利用いただくには、別途「ScanGear」のダウンロードおよび設定が必要です。詳細は Turbolinux Client 2008 プリンタスキャナドライバダウンロードサイト「キャノン スキャナドライバ」のページを参照ください。

http://www.turbolinux.co.jp/products/tlc2008/driver/canon_scanner.html

【事前の準備】

1. Turbolinux Client 2008 をハードディスクにインストールしパッケージのアップデートをおこないま

す。Yum Extender を起動し  (パッケージ) アイコンを選択し画面上部にある “パッケージ” から “更新” オプションボタンを選択しアップデートパッケージを画面のリストに表示します。 [全て追加] ボタンをクリックしアップデートパッケージをすべて選択します。

2. 続いて Yum Extender の  (グループ)アイコンを選択して“グループ”画面から“システムパッケージ”の“印刷サポート”グループを選択し印刷に必要なパッケージをすべてインストールします。(1.および2.の詳細手順は、「[Turbolinux Client 2008 アプリケーションガイド](#)」「6.1 プリント設定の前に」も参照ください。)
3. IJ Printer Driver Ver.2.70 for Linux および IJ Print Filter Ver.2.60 for Linux の機種(PIXUS iP3300、PIXUS iP4300、PIXUS iP90、PIXUS iP90v、PIXUS iP4200、PIXUS iP6600D、PIXUS iP7500、PIXUS MP510、PIXUS MP600)をご利用いただくには、更に libxml パッケージのインストールが必要になります。
- Yum Extender の  (パッケージ)アイコンを選択し画面上部にある“パッケージ”から“利用可能”オプションボタンを選択します。上部のテキストボックス内に“libxml”と入力し  をクリックします。リストにパッケージが表示されたらチェックボックスを選択してください。
4. パッケージの選択がすべて完了したら[キューを処理する]ボタンをクリックします。確認のダイアログが表示されますので[OK]ボタンをクリックして必要なパッケージをすべてインストールしてください。ここまでの手順で選択をしたパッケージが表示されます。また、依存関係にあるパッケージも自動的に選択されインストールされます。完了後[Quit]ボタンをクリックして Yum Extender を終了してください。

【パッケージのダウンロード】

ブラウザでダウンロードサイト(http://www.turbolinux.co.jp/products/tlc2008/driver/canon_printer.html)へアクセスし、「キヤノン製プリンタドライバ」からご利用になる機種名のパッケージをすべてダウンロードしてください。ファイル名は以下ようになります。共通パッケージは同じバージョンの複数機種間で共通ですが、ご利用の機種用のものを必ず選択してください。gzip 圧縮の tar アーカイブには共通パッケージ、機種別パッケージ、インストールスクリプトなどが含まれています。

- cnijfilter-common-*n.nn* -*n*.i386.rpm (共通パッケージ)
- cnijfilter-機種名-*n.nn* -*n*.i386.rpm (機種別パッケージ)
- cnijfilter-機種名-*n.nn* -*n*.i386-rpm.tar.gz または
cnijfilter-機種名-*n.nn* -*n*-rpm.tar.gz (gzip 圧縮 tar アーカイブ)



“機種名”にはご利用のプリンタの機種名が、“*n.nn-n*”の部分にはバージョン番号が入りますのでそれぞれ適宜読み替えてください。



ダウンロードしたパッケージがRPMの場合は【[RPMパッケージのインストール手順](#)】を参照し、gzip 圧縮 tar アーカイブの場合は【[tarアーカイブのインストール手順](#)】を参照しインストールしてください。



共通パッケージのバージョンが異なる複数機種のプリンタドライバは同時にインストールし利用することができません。ご注意ください。

【RPM パッケージのインストール手順】

以下の手順でインストールしてください。

1. (Kメニュー)から“システム” → “その他のアプリケーション” → “コンソール(管理者)”を選択します。“パスワード:”と表示されたら root のパスワード入力し[Enter]キーを押してください。プロンプトに続けて以下のように入力します。

```
# cd /home/turbo/ダウンロード/
# rpm -ivh cnijfilter-common-2.90-1.i386.rpm
準備中... ##### [100%]
1:cnijfilter-common ##### [100%]
# rpm -ivh cnijfilter-ip2600series-2.90-1.i386.rpm
準備中... ##### [100%]
1:cnijfilter-ip2600series##### [100%]
```



パッケージは必ず共通パッケージ(cnijfilter-common-*n.nn-n.i386.rpm*) → 機種別パッケージ(cnijfilter-機種名-*n.nn-n.i386.rpm*)の順にインストールするか、両パッケージを同時に指定してインストールしてください。



上記の“/home/turbo/ダウンロード/”の部分はダウンロード先のパスに、“cnijfilter-common-2.90-1.i386.rpm”や“cnijfilter-ip2600series-2.90-1.i386.rpm”などのパッケージ名の部分は、実際のパッケージファイル名にそれぞれ適宜読み替えてください。

2. インストールが完了したらシステムを再起動してください。



設定を反映するには cups サービスの再起動またはシステムの再起動が必要です。

【tar アーカイブのインストール手順】

以下の手順でインストールしてください。

1. (Kメニュー)から“システム” → “その他のアプリケーション” → “コンソール(管理者)”を選択します。“パスワード:”と表示されたら root のパスワード入力し[Enter]キーを押してください。プロンプトに続けて以下のように入力します。カレントディレクトリに展開され、パスが次のように表示されます。例は cnijfilter-mx860series-3.10-1-i386-rpm というディレクトリ以下です。

```
# cd /home/turbo/ダウンロード/
# tar xzvf cnijfilter-mx860series-3.10-1-i386-rpm.tar.gz
cnijfilter-mx860series-3.10-1-i386-rpm/
cnijfilter-mx860series-3.10-1-i386-rpm/packages/
cnijfilter-mx860series-3.10-1-i386-rpm/packages/cnijfilter-mx860series-3.10-1.i386.rpm
cnijfilter-mx860series-3.10-1-i386-rpm/packages/cnijfilter-common-3.10-1.i386.rpm
cnijfilter-mx860series-3.10-1-i386-rpm/install.sh
```



上記の "/home/turbo/ダウンロード/" の部分はダウンロード先のパスに、"cnijfilter-mx860series-3.10-1-i386-rpm.tar.gz" の部分は、実際のアーカイブファイル名にそれぞれ適宜読み替えてください。

2. 次のように展開したディレクトリへ移動し、インストールスクリプトを実行しドライバをインストールします。

```
# cd cnijfilter-mx860series-3.10-1-i386-rpm/
# ./install.sh
Execution command = rpm -Uvh ./packages/cnijfilter-common-3.10-1.i386.rpm
準備中...          ##### [100%]
  1:cnijfilter-common ##### [100%]
Execution command = rpm -Uvh ./packages/cnijfilter-mx860series-3.10-1.i386.rpm
準備中...          ##### [100%]
  1:cnijfilter-mx860series ##### [100%]
## Install mx860series process is complete ! ##
```

3. インストールが完了したらシステムを再起動してください。



設定を反映するには cups サービスの再起動またはシステムの再起動が必要です。



IJ Printer Driver Ver.3.20 for Linux 以降のドライバは、パッケージのインストール後に次のように表示されます。メッセージに従って操作し、プリンタが検出された場合登録を行ってください。

```
#####
# Register Printer
#####
Next, register the printer to the computer.
Connect the printer, and then turn on the power.
To use the printer on the network, connect the printer to the network.
When the printer is ready, press the Enter key.
>
```

```
#####
# プリンターの登録
#####
続いて、プリンターの登録を行います。
プリンターを接続して、電源を入れてください。
ネットワーク接続で使用する場合は、プリンターをネットワークに接続してください。
準備が整ったら、Enter キーを押してください。
>
```

詳細は、キヤノンマーケティングジャパン株式会社 Web サイトにて公開されているご利用機種 [のオンラインマニュアルを参照ください](#)。

また、検出されない場合は "Could not detect the target printer." や "対象プリンターが検出できませんでした。" のように表示されます。[Q]キーを押して終了し、[【プリンタの追加】](#) を参照して手動でプリンタを追加してください。



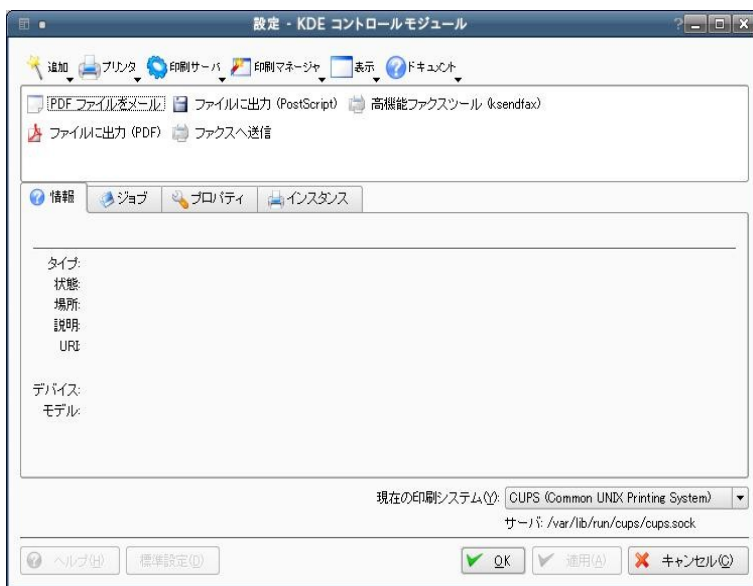
上記の手順でインストールした場合は次のコマンドを実行しアンインストールを行うことができます。

```
# cnijfilter-mx860series-rpm-pkgconfig.sh --uninstall
```

例はMX860です。mx860series の部分はご利用のプリンタドライバに合わせて適宜読み替えてください。

【プリンタの追加】

1. ここまでの準備が完了したらプリンタをネットワークまたはローカルの場合は PC に接続し電源を入れておいてください。
2. パネルの から “アクション” の “設定” -> “プリンタ設定ツール” を起動します。



画面の下にある “現在の印刷システム” が “CUPS (Common UNIX Print System)” になっていることを確認します。

3. プリンタを追加するには、[追加]ボタンをクリックして “プリンタ/クラスを追加” を選択します。以下の画面が表示されます。



[次]ボタンをクリックします。

4. 次の画面が表示されたら使用するプリンタが接続されているバックエンドデバイスを選択します。



ローカルプリンタ(パラレル、シリアル、USB) を選択して[次]ボタンをクリックした場合は、以下の画面が表示されます。



USB 接続の場合は以下のように指定します。プリンタドライバのバージョンによって指定方法が異なりますのでご注意ください。

●IJ Printer Driver Ver.2.90 for Linux および以前のバージョン

“URI:” 欄に **usb:/dev/usb/lp0** のようにデバイス URI を指定します。



URI:欄に自動検出された値が表示されている場合、そのまま設定を行うと正常に動作しないことがあります。必ず **usb:/dev/usb/lp0** のように編集してください。
/dev/usb/lp0 の部分は環境により変動しますが dmesg コマンドなどで確認いただけます。

IJ Printer Driver Ver.2.90 for Linux および以前のバージョンのドライバの場合、プリンタ追加設定完了後に、usb: の部分を **cnijusb:** に変更いただく必要がございます。CUPS の仕様上、設定ツールや lpadmin コマンドで _ (アンダースコア) を入力いただけません。本ガイドの記載にそってプリンタ登録後に変更してください。

●IJ Printer Driver Ver.3.00 for Linux 以降

“URI:” 欄に **cnijusb:/dev/usb/lp0** のようにデバイス URI を指定します。



URI:欄に自動検出された値が表示されている場合、そのまま設定を行うと正常に動作しないことがあります。必ず **cnijusb:/dev/usb/lp0** のように編集してください。
/dev/usb/lp0 の部分は環境により変動しますが dmesg コマンドなどで確認いただけます。

IJ Printer Driver Ver.3.00 for Linux 以降の場合、デバイス URI バックエンドが “cnijusb” になりますので、プリンタ追加設定後にを変更する必要はありません。

バックエンドデバイスに “ネットワークプリンタ(TCP)” を選択した場合は、以下の画面が表示されます。



ネットワークプリンタの IP アドレスを入力します。ポート番号は、“9100” がデフォルトで使用されます。通常は入力する必要はありません。プリンタの IP アドレスが分からない場合は、LAN 上に存在するネットワークプリンタを検出することができます。検出するには、[設定] ボタンをクリックして以下の画面を表示します。



検出する IP アドレスの範囲を設定して [OK] ボタンをクリックします。“ネットワークプリンタ情報” 画面へ戻りますので、[スキャン] ボタンをクリックします。



ネットワークプリンタのスキャンが開始され、検出されたネットワークプリンタの一覧が表示されます。

一覧から使用するネットワークプリンタを選択して[次]ボタンをクリックします。



PIXUS MX860 の場合、ネットワークプリンタとして検出されません。以下のコマンドでプリンタの追加が可能です。コマンドで追加した場合は以降の操作は不要です。

```
# /usr/sbin/lpadmin -p MX860 -m canonmx860.ppd -v cnijnet:/00-00-85-AB-C1-23 -E
```

00-00-85-AB-C1-23 の部分はプリンタのネットワークデバイスの MAC アドレスを指定します。ご利用のプリンタの MAC アドレスは以下の通り確認いただけます。

1. ご利用機本体の操作パネルのメニューボタンを押します。
2. ボタンと OK ボタンを使用して、[設定]、[本体設定]、[LAN 設定]、[無線 LAN 設定表示] または [有線 LAN 設定表示] の順に選択します。
3. 表示されたネットワーク設定情報の中から、[MAC アドレス]を確認します。

詳細は、キヤノンマーケティングジャパン株式会社 Web サイトにて公開されているご利用機種 of オンラインマニュアルを参照ください。

5. プリンタデータベースの再構築が行われ、しばらくすると以下の画面が表示されます。



“製造者” から “CANON” を選択し “モデル” からインストールしたプリンタドライバ名を選択し[次]ボタンをクリックします。

6. 以下の画面が表示されたら[テスト]ボタンをクリックして正しくプリントされることを確認します。



確認後、[次]ボタンをクリックします。

7. 以下の画面が表示されます。ここでは、開始と終了ページにつけるバナーページを指定できます。通常は必要ありません。そのまま[次]ボタンをクリックします



8. 印刷するデータのサイズやページ数に制限をかけたい場合などに設定することができますが、通常は必要ありません。そのまま[次]ボタンをクリックします。



9. 印刷を拒否するユーザーを設定したいのであれば、ここで指定することができます。[次]ボタンをクリックします。



10. プリンタの名前、プリンタの設置場所、プリンターの説明を入力します。“名前”は必ず入力しなければなりません。“場所”と“記述”は、必要に応じて入力します。入力完了後、[次]ボタンをクリックします。



11. 設定を確認して[完了]をクリックします。プリンタ設定ツールの初期画面に戻ったら[OK]ボタンをクリックして終了します。ローカルプリンタ(USB)以外はプリンタの登録完了です。



12. IJ Printer Driver Ver.2.90 for Linux およびそれ以前のバージョンのドライバを使用し、USB 接続の場合のみデバイス URI のバックエンドを "cnij_usb" に変更します。



USB 接続以外の場合、この項目の設定を行わないでください。



IJ Printer Driver Ver.3.00 for Linux 以降をご使用の場合は、この項目の設定を行わないでください。USB 接続の場合のデバイス URI バックエンドは "cnijusb" です。

/etc/cups/printers.conf ファイルの以下部分をエディタで編集します。

変更前

```
<Printer IP3500>
Info CANON IP3500
Location Office
DeviceURI usb:/dev/usb/lp0
State Idle
StateTime 1227150335
Accepting Yes
...中略
</Printer>
```

変更後

```
<Printer IP3500>
Info CANON IP3500
Location Office
DeviceURI cnij_usb:/dev/usb/lp0
State Idle
StateTime 1227150335
Accepting Yes
...中略
</Printer>
```



上記の表示内容は、一例です。プリンタ名、説明や場所等、実際の内容に適宜読み替えてください。

vi エディタを利用する場合は、(Kメニュー)から“システム”→“その他のアプリケーション”→“コンソール(管理者)”を選択します。“パスワード:”と表示されたら root のパスワード入力し [Enter]キーを押してください。

はじめにプロンプトに続けて以下のように入力しバックアップをとります。

```
# cp /etc/cups/printers.conf /etc/cups/printers.conf_org
```

続いて次のように入力します。

```
# vi /etc/cups/printers.conf
```

ファイルの内容が表示されたら、[j](下)、[k](上)、[h](左)、[l](右)キー等を押して修正対象の“usb:”の“u”へとカーソルを移動します。

```
...前略
<Printer IP3500>
Info CANON IP3500
Location Office
```

```
DeviceURI usb:/dev/usb/lp0
State Idle
StateTime 1227150335
Accepting Yes
後略...
```

[i]キーを押し挿入モードに移行します。画面下部に“挿入”と表示されたら、“cnij”と入力します。
[Esc]キーを押してから、[:]->[w]->[q]->[!]キー押して[Enter]キーで保存しエディタを終了します。

```
DeviceURI cnijusb:/dev/usb/lp0
```



ここでご紹介した vi エディタは一例です。通常ご利用いただいているエディタにて同ファイルを編集し上書き保存してください。

編集完了後、次のように入力し cups を再起動するか、システムを再起動します。

```
# /etc/init.d/cups restart
Stopping cups: OK
Starting cups: OK
```

【アンインストール手順】

cnijfilter-common-n.nn -n.i386.rpm や cnijfilter-機種名-n.nn -n-1.i386.rpm というファイル名のドライバをインストールしている場合、以下のように実行しアンインストールしてください。

```
# rpm -e cnijfilter-機種名
# rpm -e cnijfilter-common
```



cnijfilter-機種名 や cnijfilter-common の部分にはアンインストールするパッケージ名を指定します。パッケージ名は以下のとおり確認することができます。

```
# rpm -qa | grep cnijfilter
cnijfilter-common-2.90-1
cnijfilter-ip2600series-2.90-1
```



パッケージは必ず機種別パッケージ(cnijfilter-機種名-n.nn-n-1.i386.rpm)-> 共通パッケージ(cnijfilter-common-n.nn-n.i386.rpm)の順にアンインストールするか、両パッケージを同時に指定してアンインストールしてください。



【tarアーカイブのインストール手順】の手順にそってインストールを行った場合は、以下の操作でアンインストールを行えます。

```
# cnijfilter-mx860series-rpm-pkgconfig.sh --uninstall
```

mx860series の部分をご利用のプリンタドライバに合わせて適宜読み替えてください。